

梶山ひろし

プロフィール

●昭和30年10月18日、茨城県常陸太田市生まれ●県立太田第一高～日大法学部卒●サラリーマン生活を経て、昭和63年会社を設立し、中小企業の経営にあたる●平成12年衆議院議員初当選、現在5期●母・春江、妻・由可子、3女の6人家族



レポート View vol.44

平成26年
新春号愛郷無限
新時代
Kajiyama Hiroshi

●発行／茨城県常陸太田市山下町1189 自由民主党茨城県第四選挙区支部

梶山ひろし国土交通委員長、
2014年、抱負を語る！

国土交通委員会の円滑な議事運営に努める

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いでうらかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。昨年賜りましたご支援に心よりお礼申し上げます次第です。

■昨年、国土交通副大臣から
衆議院国土交通委員長に就任。

さて、振り返れば、昨年は、平成24年の12月27日に就任した国土交通副大臣の任期が9月30日に終了。その後、10月15日の臨時国会からは、衆議院の国土交通常任委員会の委員長として務めさせて戴いております。

衆議院国土交通常任委員会とは国会法で規定された17の常設委員会のうちの1つであり、国会に付託された法律案の中で、国土交通省に関わる法律、条約などを審議し、また、その所管に属する事項について、調査を行なう委員会です。現在、45名の衆議院議員が委員となっておりますが、その議長役を務めるのが委員長です。そして、委員会で議決をし、その結果を本会議に報告をするとともに、本会議で採決をしてもらう、この一

連の動きをリードしていくのが私の役割です。委員長に一任される事項も多いため、委員会全体の方向に大きな影響を与えることもあります。公平で効率的な委員会運営を心がけ、精力的に取り組んでおります。

■国会における国土交通分野の
担当・責任者として活動中

たとえば、先の列車火災、脱線事故などを発端としたJR北海道の事故やトラブルの相次いでいる問題がご記憶に新しいと思いますが、これについても、その原因と解決、再発防止に向け、JR北海道の野島社長らを参考人として質疑を行い、議論しております。

また、私の副大臣時代に積み残しとなった海賊対処法（海賊多発海域における日本船舶の警備に関する特別措置法）をはじめ4本の法律もこの臨時国会で成立をさせていただきました。55日間という短い会期でしたが、委員会で協議した事項については、お陰様で全て結果を出すことができました。



梶山ひろし国土交通委員長に大きな期待！

